



発行所
公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
ダコタハウス5階
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

年頭挨拶



公益財団法人 漁船海難遺児育英会
代表理事 副理事長
岸 宏

新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年のわが国の経済は「アベノミクス」による金融緩和・景気対策等、様々な工夫がなされた結果、長期にわたるデフレ不況からの脱却が図られ、年始の平均株価は約1年ぶりに高値を記録し、9月にはいざなぎ景気(65年11月~70年7月)を抜いて戦後2番目の景気拡大となりました。

一方、水産業界におきましては、いか・さんまの不漁等のほか、北朝鮮のミサイル発射や大和堆等における外国漁船の不法操業が、全国の漁業者とその家族に強い不安を抱かせているとともに、日本海沿岸における相次ぐ北朝鮮漁船の漂着などもあり、漁業の持つ多面的機能の一つである国境監視の重要性が注目される事態となつてきております。

昭和57年の3兆円のピークから下がり続けていた漁業生産額は、ここ3年連続で増加し、平成27年は前年対比で5・8%増加、1兆

等、事業の改善・充実を図って参ることができました。これもひとえに、全国の支援者並びに関係各位のこれまでのご尽力の積み重ねによるところであり、ご支援いただいたお礼申し上げます。また、重ねてお礼申し上げますとともに、更なる育英事業の充実を図るため、大学等への進学率の向上等を目指し、育英事業検討委員会を立ち上げ議論を進めているところであります。

今後とも、皆さまから託されたご厚志を海難遺児の修学支援として役立てていくため、一層の努力をしてまいります。被害に遭われ、引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奨学生の皆さまにおかれましては、進学・就職を控え、希望に満ちた年明けを迎えられたことと存じます。新しいこの1年、健康に気を付け、実り多き年としてください。

最後に、皆さま方のますますのご発展とご健勝と、あわせて海上安全を祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



全国漁協女性部連絡協議会
会長理事
盛合敏子

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、関係の皆さまにおかれましては、漁協女性部に対し、日頃よりあたたかくお見守りいただき、また、ご指導をいただき衷心より感謝申し上げます。

さて、近年の度重なる異常気象の発生は、私たち水産従事者にとり大きな脅威であり、甚大な漁業被害をもたらしています。特に

漁船海難遺児を励ます全国協議会 会長 岸 宏

新年明けましておめでとうございます。漁船海難遺児育英事業につきましては、常々格別のご支援並びにご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、7月の九州北部豪雨をはじめ、相次ぐ台風の上陸と豪雨の影響により、各地の農林水産業に大きな被害が発生しました。この場をお借りし、被害に遭われ、お見舞い申し上げます。また、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、国の新たな水産基本計画において、浜プランを軸とした漁業・漁村の活性化に向けた取組の推進、今後の漁業生産を担っていく中核的漁業者の確保・育成、漁船リース事業等をはじめ施策の重点化による競争力の強化、また、漁船の大型化による安全性の向上や、AISの普及等による事故の防止等、漁船漁業の安全性対策の強化を図ることとされました。

さらには、昨年末に閣議決定された平成29年度補正予算案には、

JFグループが強く要望していた漁船リース事業、機器等導入事業について、前年以上の予算規模で継続され、クロマガロの資源管理にかかる補償措置等の支援が盛り込まれる等、意欲ある漁業者が将来に亘って希望を持って経営に取り組む、浜の構造改革を進めていくための重要な対策が措置されました。

今、全国の浜では「浜の活力再生プラン」の策定・実践が進められ、これまでに650地区のプランが承認され、約7割の地域において所得向上目標を上回る等の成果を上げているところです。

私たちJFグループは、国の対策も活用しながら、浜プランの実践をはじめとする様々な取組を推進する必要がある。漁業者一人一人の持つ能力を大いに発揮していただきたく、ご協力をお願いする次第です。

漁業の安全操業につきましては、本年2月1日より改正省令が施行し、ライフジャケット着用義務範囲拡大により、20未満の小型漁船の場合、原則、全ての乗船者にライフジャケットの着用が義務づけられ、更に、平成34年2月1日からは、新たに着用義務の対

なりました。

そして、出漁においては、「あたりまえライフジャケット着用安全操業」をスローガンに、海難事故が無い・大切な人命を守って行かなければと心に留めたところでございます。

JF全国女性連では、海藻おしば協会会長・野田三千代先生のご指導のもと、「海を守る青少年体験教育活動」の一環として「海藻おしば教室」を後援・開催しております。この活動は長年に亘る「石けん」使用推進活動と併せ、「海藻が作る海の森の存在とその重要な働きについてを学び、私たちの海を守って行きましょう」という環境保全へのメッセージが込められております。

また、昨年は、JF全国女性連の新たな活動として「JF全国女性連フレッシュ・ミズ部会」を立ち上げました。若い世代の声をきいて(聞く・いかにして(活動する)つないで(継続する)：新たな3Kによる、明日に架ける女性部。女性連の活動に繋がるようにと願っています。奨学生やご家族の皆さまからも忌憚のないお話しをいただき、豊かで暮らしやすい地域づくり、活性化に繋がる女性部活動を行っていただきたいと思います。

最後に、新しい年が奨学生の皆さまにとって実り多き年となるよう、そしてご家族の皆さまのご健康をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。





奨学生選考委員 委員長 相上興信

新年明けまして、おめでとうございませう。

皆さまには輝かしい新年を健やかに迎えられることと心からお慶び申し上げます。

あの東日本大震災、観測史上最大マグニチュード9.0の巨大地震。史上まれに見る破壊力で押し寄せた津波。そして福島第一原発事故。その災害の大きかったことを思い起こすと、心が強く痛みます。東日本大震災から、7度目の春を迎えています。復興についてはまだまだ遠く、原発の問題及び、漁船・漁業の安全対策の強化も官民挙げて進められておりますが、なかなか解決には程遠い状態です。今後も被災地域の復興を見つめ、たゆみない努力と支援の輪を広げていくことが、大切と感じます。

皆さまには、日ごろから漁船海難遺児育英会事業におきまして、たいへんご支援をいただいております。現在、給与奨学生・貸与奨学生を含め、207人であり、奨学生は日々熱心に学業に専念しており、各自、自己の成長への努力をしっかりと進めております。

2010年から開催されている「ふれあい旅行(奨学生・保護者交流会)」は今年も、小・中学生を対象に実施されました。参加された子供たちは、すぐに友達になり、お互いの意が通るようになり、さまざまな活動に取り組み素晴らしく体験を積むことができました。

特に野外教育事務所の代表やデレクターの方々、指導が随所で加わり、素晴らしい活動・友との体験・将来への希望や抱負として生き方などをいろいろ学びました。

参加された家庭の皆さんは、お父さんがいないという点で苦しみ

を分かち合え、多くの会話や悩み話もでき、熱が入りすぎるほどでした。親としては、「同じ境遇の家族と話してみたい。」や「自分だけでなく、子供にも必要な経験かもしれないので参加させて経験をさせたい。」という願望もあつた中で、「全く知らない人たちと泊りで、しかも部屋が大人と子供と別」ということで悩んだようです。しかし初めて参加されたご家庭の保護者より「育英会の方から熱心にお話をいただき、不安

でありましたが参加を決め、緊張しながら当日を迎えました。最初は子供も私から離れませんでした。最初は子供たちを見てくれる「ワンパク大学」スタッフがみんなと仲良くなれるイベントをたくさん用意してくれていたもので、子供たちはあつという間に場面を楽しんでいました。育英会のスタッフが参加された方たちといろいろなお話をしたり、聞いたりしているなかで、「私だけではないのか、みんな頑張っているんだ」と自分の気持ちが楽になり、笑ったり、涙を流したりしているうちに気持ちがさらに一段と軽くなりました。最後には、皆さんと別れる寂しさもまた参加したいという気持ちが高ぶってきました。「参加された家庭のお母さんと、普段の悩みや相談ができたこと、これから生きることにしても多くのことに気づかされ、心に残る力を身に付けることができました。」と語っています。

このふれあい旅行では親同士、子供同士でコミュニケーションが取れるという利点があり、親として夫が亡くなったこと、親として問題等、辛かったことを話す機会ができ、共感が芽生え、安堵感の気持ちを得られたということでもあり、有意義なことであり、奨学生の皆さんは育英会の事業

等により、勉学やスポーツ活動に取り組み、家庭の手伝いなどさまざまな事に精を出して励むことができます。奨学生のみならず親の偉大さを胸に秘め、日々頑張る力をもつて、常にこれからの社会に大きな意欲を高揚させながら真つ向から勉学に取り組んでください。そうして皆さん一人一人、叶えられる夢を持ち自分の進み行く変化を大切に、苦しみを超え、地に足をしっかりとつけて着実にこれからの世の中を切り開き進んでください。

最後に、奨学生の皆さんのご健康とご家庭が夢を持ちえた実りの多い年であることを祈念し、ご挨拶いたします。

2017年度 臨時(第3回)理事会

8月24日(木)(同意日)、『2017年度第3回評議員会』を画面により開催、以下の提案について同意を求めました。①第2回評議員会の招集の決定。②辞任に伴う後任評議員候補者(1名)の推薦。③辞任に伴う後任理事候補者(2名)の推薦。④辞任に伴う後任奨学生選考委員(1名)の選任。⑤辞任に伴う後任育英事業運営検討委員(1名)の選任について。審議され、いずれも全員の同意確認を得、承認可決されました。

2017年度 臨時(第2回)評議員会

9月13日(水)(同意日)、『2017年度第2回評議員会』を画面決議により開催、以下の提案について同意を求めました。①辞任に伴う後任評議員(1名)の選任について。②辞任に伴う後任理事(2名)の選任について審議され、いずれも全員の同意確認を得、承認可決されました。

「新任者」芳名

奨学生選考委員、育英事業運営検討委員 鏡 信春氏 (公益社団法人日本海難防止協会常務理事)

評議員 鏡 信春氏 (公益社団法人日本海難防止協会常務理事)

理事 木村吉男氏 (農林中央金庫執行役員)

理事 JFマリンバンク部長 (JF全国女性連会長理事)

理事 盛合敏子氏 (JF全国女性連会長理事)

この大会は、魚食国である日本人の食卓に、安全で美味しい水産食料を届けるために、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日のわが国漁業の振興と発展を図ることを趣旨に、1981年より(昭和56)毎年各地で開催されております。(※本会は、



▲稚魚をお手渡しされる天皇・皇后両陛下 (代表撮影)

10月28日(土)29日(日)の2日間、「海 人 地」

の2日間、「海 人 地」のテーマに「第37回全国豊かな海づくり大会 福岡大会」(主催・豊かな海づくり大会推進委員会、第37回全国豊かな海づくり大会福岡実行委員会)が盛大に執り行われました。

第3回より募金活動を実施させていただきます。(※本会は、

今年度の開催地、福岡県は九州の北部に位置し、自然環境に恵まれ、多様な農林水産業が展開されています。水産業では、日本海西部に位置し対馬暖流の影響を受ける筑前海、広大な干潟を有する有明海、瀬戸内海西部に位置し穏やかな内海である豊前海の3つの海と筑後川、矢部川などの内水面にお

関連行事会場



▲募金活動に協力してくれた福岡海洋少年団のみなさん

式典会場



いて各水域の特性を活かした多種多様な漁業が営まれており、タイ・フグ・養殖ノリなどは全国で有数の生産量を誇っております。29日の式典行事は福岡県宗像市の宗像ユリックス本館で、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、地元の方々による舞踊や合唱、功績団体や作文コンクール等優秀作品受賞者の表彰式が行われました。その後、鐘崎漁港等にて予定されておりました海上歓迎・放流行事、関連行事は台風22号の影響により中止となりました。本会においては、福岡海洋少年団および福岡県庁の皆さんにご協力いただき、28日の関連行事(宗像ユリックス屋外施設)および29日の式典会場の2カ所で募金活動を行いました。関連行事会場では冷たい雨の中、寒さにも負けない海洋少年団の元気な呼び掛けに、来場された皆さまも足を止め温かいご支援・励ましをいただくことができました。最後に大会主催者はじめ、海洋少年団の皆さん、ご支援いただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。なお、次回の第38回大会は、2018年秋季に高知県で行われる(予定)です。詳しい情報は、高知県庁ホームページ <http://yutakanaumi-koehi.jp> をご覧ください。

2017年度 第5回 fish-1 グランプリ

11月19日(日)、日比谷公園(東京都千代田区)において「第5回 Japan fisherman's festival 2017」(主催: SAKANA & JAPAN PROJECT)と「第5回 fish-1 グランプリ」(主催: 全国漁業協同組合連合会)が開催されました。フィッシャーマンズフェスティバルとは世界の海沿いの都市で開催されているもので、国民に魚の魅力やおいしさを提案し、魚大の日本を再確認して魚食推進を目的としたイベントです。こちらと同時開催の「魚フライドフィッシュ料理コンテスト」と「地域を元気にする国産魚ファストフィッシュ商品コンテスト」のファイナリストの中から審査員と来場者の投票でグランプリを決める「魚の祭典」です。試食・投票が行われている間には、さかなクンがお魚の魅力を楽しく教えてくれるステージや、次世代を担う水産高校生による発表などが行われました。



なお、今回グランプリに選ばれた商品は、プライドフィッシュ料理コンテスト部門「いか様丼(JF伊豆静岡漁連/JF伊豆仁科支所)」、国産魚ファストフィッシュ商品コンテスト部門「剣先イカレモンオイル漬(JF佐賀せんかい)」が受賞されました。

「いか様丼」(写真左)、「剣先イカレモンオイル漬」(写真下)

「水色の羽根募金」への理解と協力を呼びかけ、たくさんの方にご支援をいただきました。関係者の皆さま並びに、来場者の皆さまに深く感謝申し上げます。

「魚の祭典」

全国各地の漁師が選んだ、本当においしい旬の魚。魚のおいしさを伝えるため、全国漁業協同組合連合会が2014年度より始めたプロジェクトで、各地の漁連・漁協(JFグループ)が春夏秋冬ごとに、旬を迎える魚の中から1種ずつ選定しています。

「魚の国しあわせ」

手軽・気軽においしく水産物を食べることで、食生活が豊かになることを目指しています。商品や食べ方のこと、加速する魚離れを食い止めるべく、2012年から始まった官民協働の取り組みである「魚の国しあわせ」プロジェクトの1つです。現在では全国の商品が次々と選定され、全国のスーパーなどで販売されています。

「魚の国しあわせ」

「魚の国しあわせ」は、全国の漁師が選んだ、本当においしい旬の魚。魚のおいしさを伝えるため、全国漁業協同組合連合会が2014年度より始めたプロジェクトで、各地の漁連・漁協(JFグループ)が春夏秋冬ごとに、旬を迎える魚の中から1種ずつ選定しています。



「魚の国しあわせ」

「魚の国しあわせ」は、全国の漁師が選んだ、本当においしい旬の魚。魚のおいしさを伝えるため、全国漁業協同組合連合会が2014年度より始めたプロジェクトで、各地の漁連・漁協(JFグループ)が春夏秋冬ごとに、旬を迎える魚の中から1種ずつ選定しています。



2017年度 第5回 fish-1 グランプリ

11月19日(日)、日比谷公園(東京都千代田区)において「第5回 Japan fisherman's festival 2017」(主催: SAKANA & JAPAN PROJECT)と「第5回 fish-1 グランプリ」(主催: 全国漁業協同組合連合会)が開催されました。フィッシャーマンズフェスティバルとは世界の海沿いの都市で開催されているもので、国民に魚の魅力やおいしさを提案し、魚大の日本を再確認して魚食推進を目的としたイベントです。こちらと同時開催の「魚フライドフィッシュ料理コンテスト」と「地域を元気にする国産魚ファストフィッシュ商品コンテスト」のファイナリストの中から審査員と来場者の投票でグランプリを決める「魚の祭典」です。試食・投票が行われている間には、さかなクンがお魚の魅力を楽しく教えてくれるステージや、次世代を担う水産高校生による発表などが行われました。

「いか様丼」(写真左)、「剣先イカレモンオイル漬」(写真下)

「水色の羽根募金」への理解と協力を呼びかけ、たくさんの方にご支援をいただきました。関係者の皆さま並びに、来場者の皆さまに深く感謝申し上げます。

「魚の祭典」

全国各地の漁師が選んだ、本当においしい旬の魚。魚のおいしさを伝えるため、全国漁業協同組合連合会が2014年度より始めたプロジェクトで、各地の漁連・漁協(JFグループ)が春夏秋冬ごとに、旬を迎える魚の中から1種ずつ選定しています。

「魚の国しあわせ」

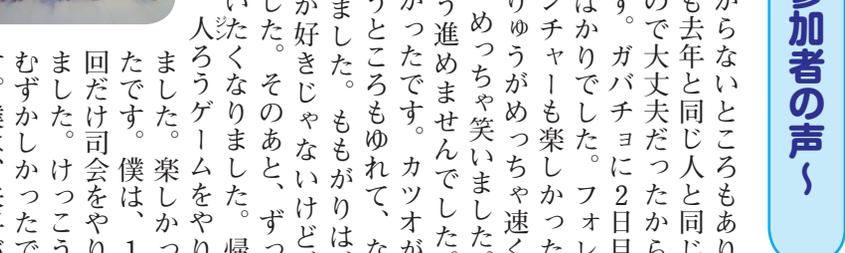
手軽・気軽においしく水産物を食べることで、食生活が豊かになることを目指しています。商品や食べ方のこと、加速する魚離れを食い止めるべく、2012年から始まった官民協働の取り組みである「魚の国しあわせ」プロジェクトの1つです。現在では全国の商品が次々と選定され、全国のスーパーなどで販売されています。

「魚の国しあわせ」

「魚の国しあわせ」は、全国の漁師が選んだ、本当においしい旬の魚。魚のおいしさを伝えるため、全国漁業協同組合連合会が2014年度より始めたプロジェクトで、各地の漁連・漁協(JFグループ)が春夏秋冬ごとに、旬を迎える魚の中から1種ずつ選定しています。

「魚の国しあわせ」

「魚の国しあわせ」は、全国の漁師が選んだ、本当においしい旬の魚。魚のおいしさを伝えるため、全国漁業協同組合連合会が2014年度より始めたプロジェクトで、各地の漁連・漁協(JFグループ)が春夏秋冬ごとに、旬を迎える魚の中から1種ずつ選定しています。



第2回 育英事業検討委員会

10月24日(火)コープビル(東京都千代田区)にて「2017年度第2回育英事業運営検討委員会」を開催しました。

第1回目検討委員会での今後の育英事業(奨学金貸与事業)の見直しに係る給与事業への一本化に向けたアンケート調査結果を基に協議を行い、給与金額の設定及び新規の大学生等に対する入学祝い金制度の設立に向けた協議を行いました。

また、本会設立50周年記念事業については、2020年度11月2月の間で記念式典を実施することとなりました。

検討内容については、1月開催の第3回検討委員会での最終協議を行い、3月開催の理事会にて報告されて、承認後、次年度以降の事業に反映されます。

2017ふれあい旅行「山梨県 石和・河口湖の旅」

「ふれあい旅行を振り返って」

おとうさんがなくなって、いろいろなところに行けなかったけど、行ったのでよかったです。

なぜなら、友だちと、とまったおふろに入ったりする事は修学旅行でしかできない体験なので、いい体験をしました。来年は、みんなももっとなかなかりたいです。

「北海道/小5/桑折朱凜」

えにトランプをかいとくんとおがりゅうとあらしとカツオとぼくでやりました。つぎにごはんをたべてからはやくちことばをしてつぎにかぞくたいこうクイズ大会をしてからビー玉をながしてトイレットペーパーのしんをつかってビー玉をつかってながしました。大人にまけたました。さんねんだと思いましたが、おふろはあつたかかったです。

かえってから9時40分ころにねて6時30分くらいにおきました。でも目をつぶっていませんでした。2日目はフォレストアドベンチャーをしました。カツオより早くいけたのでよかったです。また来年も行きたいです。「千葉/小2/T・S/男/2回目」

「ふれあい旅行に行く」僕は、ふれあい旅行に行くのが楽しかったことは、ホテルに泊まって遊んだことです。僕は、2回目の参加

「ふれあい旅行に行く」僕は、ふれあい旅行に行くのが楽しかったことは、ホテルに泊まって遊んだことです。僕は、2回目の参加

2017 ふれあい旅行スケジュール

月	日	曜日	時間		
10月	7	28	金	13:00	集合 ふれあい旅行「結団式」 ふれあいタイム 13:45 16:15 18:00 21:00 出発 (バス乗車) 「笛吹川フルーツ公園」散策 ホテルチェックイン、入浴 夕食&交流プログラム 消灯
	11月	29	土	7:00	起床 朝食 フォレストアドベンチャー体験 フィールドアスレチックのよう 森の中で安全に体験! 12:15 14:00 16:10 18:00 21:00 昼食 (河口湖畔) リニア見学センター ホテル到着 クラフト体験 (スプーン・フォーク作り) 夕食 ふれあいタイム (子供)・情報交換会 (保護者) 消灯
				7:30	起床 朝食 もも狩り おみやげタイム 13:00 東京駅到着 (解散)
30				日	7:30 9:15 13:00
12月	30	日	7:30 9:15 13:00		



1日目に、フルーツ公園に行きました。ここでは、フルーツや植物についていろいろ知ることができました。

2日目に、フォレストアドベンチャーに行きました。木にあるアドベンチャーだったことで、ちょっと最



初はこわかったけど、やってみたらこわさもふぎ飛ぶほど楽しかったです。ホテルにもどって、夜ごはんを食べ終わったあとに木を使ってスプーンとフォークを作りま

すごく楽しかったからまた、旅行に行きたいです。「神奈川/小3/白崎雪音/女/2回目」

最初はこわかったけど、やってみたらこわさもふぎ飛ぶほど楽しかったです。ホテルにもどって、夜ごはんを食べ終わったあとに木を使ってスプーンとフォークを作りま

最初はこわかったけど、やってみたらこわさもふぎ飛ぶほど楽しかったです。ホテルにもどって、夜ごはんを食べ終わったあとに木を使ってスプーンとフォークを作りま

3日目は、バスにのってモモがりに行ってとったモモに葉っぱがついていました。おみやげやさんに行き、ほっぺちゃんを買いました。

3日目に、モモ園に行き、モモを1つ1つ食べました。し食べた後にモモを1人2つまで持ち帰りま

3日目に、モモ園に行き、モモを1つ1つ食べました。し食べた後にモモを1人2つまで持ち帰りま

2日目は、フォレストアドベンチャーに行き、家づくではいけないし、こんなに遊べるのがないのですごく楽しかったです。

また来年も、ふれあい旅行に行きたいです。「神奈川/小4/白崎海渡/男/2回目」

また来年も、ふれあい旅行に行きたいです。「神奈川/小4/白崎海渡/男/2回目」

この2日間があつというまでした。修学旅行よりも楽しい日でした。ガバちゃん、カズミさん、オオさん、ズミさん、楽しい三日間をもっと楽しくしてくれてありがとうごさいます。「H・H」



をしながら、まだから見たから、うれしかったです。クイズのところがまわって、もつていったら、クリアファイルがもらえました。その後、おみやげが買えるところに行き、ストラップとおかしを買いました。来年も、行きたいです。「長崎/小5/梅田初音/女/3回目」

最初はこわかったけど、やってみたらこわさもふぎ飛ぶほど楽しかったです。ホテルにもどって、夜ごはんを食べ終わったあとに木を使ってスプーンとフォークを作りま

最初はこわかったけど、やってみたらこわさもふぎ飛ぶほど楽しかったです。ホテルにもどって、夜ごはんを食べ終わったあとに木を使ってスプーンとフォークを作りま

保護者から



「ふれあい旅行」今回のふれあい旅行の一番の思い出は、メインであったフォレストアドベンチャーです。あいにくの雨で、カッパで行うことになりましたが、あんなにはげまじったのは、ふれあい旅行初だったと思います。とても楽しめました。また、今回のすべての企画では、子どもも大人も一緒に楽しめることで、子どもどうし、親どうしだけでなく、参加した人全員と仲良くなれました。私は、今回のふれあい旅行が最後でしたが、とても楽しい行事に参加できたなあと思います。もっと早くに参加すれば良かったなあと思わず後悔も残りません。

「ふれあい旅行の思い出」2日目にいったフォレストアドベンチャーの時に、ターザンみたいにすするのが、最初こわくて、なかなかいけなかったけど、行ったらすごく気持ちよかったです。その後のリニアモーターカーのところに行きました。試けん走

「ふれあい旅行」ぼくが一番楽しかったことはフォレストアドベンチャーです。最初は怖かったけど2回目や3回目はズンズン進めたのでよかったです。練習でやったのは大抵がいたたいたのでビツクリしました。命づながあったけどそれでも両手をはなしたりするどけっこう怖かったです。そして何より心に残ったのがふれあい旅行で知り合った二人の友達と夜遅くまで起きて話していたことですか?と聞いていたけど、話していくうちに仲良くなってまた来年もこの人と会いたいなと思いついた。このふれあい旅行は、ぼくとって友達をつくるキッカケと、人と喜び合う、うれしさを感

「ふれあい旅行」私は、今回で5回目の参加になりました。今年山梨県でフルーツ農園の散策、フォレストアドベンチャー体験、リニアモーターカーの見学、もも狩りがありました。フルーツ農園では、果物に関するクイズやゲーム、色々展示されている物がありました。フォレストアドベンチャーは、意外と怖かったけど、2周目はスイスイ行ける位楽しかったです。リニアモーターカーの施設を見学して、自由研究の良い材料にもなりました。もも狩りの時も、まるごと一個、なんとか食べ切りました。意外とおもしろかったです。毎年、育英会の人達やワンパク大学の方々にお世話になって、楽しませてもらっているの、本当に感謝しています。ありがとうございました。これからも、暑さや寒さに負けず、頑張ってください! 来年も、楽しみにしています。「福岡/混/男/4回目」

水色の羽根募金

1、漁協系統募金 (各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会(略称:地協)」等で取り扱った分、一般寄附を含みます。)

〔9月〕◎北海道▽JF上磯郡―「第20回しりうち大漁まつり」売上金の一部◎青森県▽常夜燈みなと祭実行委員会▽鳥羽一郎▽港町コンサート募金―JF平内町主催「ほたての祭典2017」◎神奈川県▽JF横浜市金沢支所―汐祭募金◎富山県▽JFくろへ―自販機売上一部(株)ワンハート經由◎静岡県▽JF伊豆◎山口県▽山口

第68回 全国漁港漁場大会

10月31日(火)、岩手県民会館大ホール(岩手県盛岡市)において、全国の漁業者及び自治体関係者など約1,650人が集結し、「第68回全国漁港漁場大会(主催:公益社団法人全国漁港漁場協会、橋本牧会長)」が開催されました。岩手県では34年ぶりの開催で岩手県出身の鈴木俊一東京オリンピック・パラリンピック担当大臣が「多くの人から力強く温かい支援をいただいた」と開会宣言され、東日本大震災からの復興を振り返るとともに、大会議事「漁港漁場整備長期計画の着実な推進と平成30年度予算の確保に関する件」は提言案と示され満場一致で採択されました。

本会においてはJF岩手漁連をはじめとする水産会館の方々に協力いただき、会場受付付近で募金活動を行い、皆様より温かいご支援を賜ることができました。大会主催者はじめ、ご支援いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



県漁協青壮年部連合会下関支部▽矢佐好松◎福岡県▽博多銀鱗会会長上田浩祐◎長崎県▽三重地区みなと祭り実行委員会◎沖縄県▽JF糸満(資)カワヒラ商会―自販機売上一部(株)ワンハート經由◎岩手県▽第68回全国漁港漁場大会募金◎秋田県▽秋田県漁協北浦総括支所女性部◎山形県▽JFやまがた◎千葉県▽JF千葉漁連木更津あさり事業所/JF富津―自販機売上一部(株)ワンハート經由◎山形県▽JF小笠原島◎富山県▽魚の駅「生地」秋の大創業祭募金◎JFくろへ―自販機売上一部(株)ワンハート經由◎兵庫県▽JF兵庫漁連◎福岡県▽第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会募金◎大分県▽JFおおい本店・鶴見支店▽大分県水産振興祭実行委員会▽大分県水産養殖協議会青

農林水産祭

11月10日(金)・11日(土)の2日間、サンシャインシティ(東京都豊島区)内で、第56回農林水産祭「実りのフェスティバル」が(主催)農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会)開催されました。

このイベントは、日本の農林漁業・食品産業・農山漁村がもつ魅力を国内外に広く伝えることを目的に2012年より開催されている「食と農林漁業の祭典」の一環として開かれております。

会場では都道府県や農林水産団体等が出展し県産農水産物及び加工品の展示、即売や試食等が行われ、多くの来場者で賑わっておりました。本会は全国漁青連(JF全漁連)ブースの一角で風船やチラシ等を配布し本会の目的及び事業について広報活動を行いました。



都道府県別奨学生数

(2017年12月末現在/単位:人)

Table with columns for Prefecture (都道府県名), Category (給与奨学生: 幼児, 小学生, 中学生, 高校生等, 小計), and Total (合計). Rows list 47 prefectures and their respective numbers of students.

注1: 給与奨学生には特別支援学生を含む。注2: 貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。

新年明けましておめでとうございます。奨学生の皆さんにはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。先の一九六四年の東京オリンピックでは「ごみの無い日本」がレガシーとして残されました。次の東京大会では、人々が弱い立場の人を当然のこととして自然に支えるような「共生の社会」が定着できればと頑張っています。2018年元旦

東京オリンピック・パラリンピック担当 国務大臣 鈴木俊一

◆本会役員より年始のご挨拶をさせていただきます。*今年の干支(えと)は戌(つちのえ)・戌(いぬ)だそうです。古代中国では木星の運行により方角を決定(木星が十二年をかけ天球を一周するため)。西暦で戌戌は三十三回目の訪れだそうです。頭の良い子(ネズミ)が一番に到着。臭いを嗅ぎながら寄り道した犬が十一番目にやってきたそうです。人生百年の時代です。犬のよさに疾駆するのが必要な時もある。興味あることに寄り道して普段気づかない景色を見出すことも悪くはないのでは。奨学生にとり「進級や入学・卒業、就職等、駆け巡る年」をご家族ともども、有意義に迎えられるよう願っております。(高橋)

編集後記

※寄附金は、全て公益目的事業である漁船海難遺児等に対する修学助成事業に使用させていただきます。

(公社)日本缶詰びん詰レトルト食品協会▽新橋やきとん▽第5回Fishy1グランプリ募金◎山梨県▽佐藤一江◎大阪府▽佐々木忠義◎兵庫県▽五弓徹◎鳥取県▽浜野茂夫◎福岡県▽池田正二◎その他▽かたおかりよう